

本学救援会が結成

12日 家の光会館に百大参加

十月午後五時三十分から飯田
眞家の光会館で「本学救援会結成
大会」が開かれ、学生をはじめ教
職員一〇〇名が参加した。

まず本学全共闘統一救対から
「救援会を単に募出したものではな
く幅広い組織にし、全面的に補助
してゆく」との挨拶があった。
次いで早大教授の新島淳良氏

(杉並救援会代表)が「救援会を
作ったからには革命が成功するま
で続くものだ。そして武装隊の後
方隊としていかに軍団の一端
を担うものがある。さらに啓蒙活
動をやりながら市民に根源的な問
いかけをしていこう」と述べ本学
全共闘を代表し青岡展豪君が「救
援会が結成されたことでは願の要

いはく聞える。今日救対ができた
ことで徹底的に今後の闘争を闘う
ことを約束する共に、救援会が
治療や単なる助けに終るのではなく
独自の階級闘争・大学闘争の担い
手になってほしい」とのべた。

続いて結成大会の発起人である
藤崎教授(経営学部)が「お互いの
意志を尊重し、ある程度を決定せ
ず、各自が主体的に行動してほし
い。私も一兵卒として闘う」との
感想が述べられた。

この後、本学弁護団の大塚氏の
メッセージ、藤田君(十月九日大
学院政防戦七人のうちの一人)ら
の獄中からのアピールが読みあげ
られた。続いて東大統一救対から
の挨拶、結成宣言と続き、自由討
論に入った。

この統一救対と救援会の違い
については、前者が全共闘と密接
に結びついているのに対し、後者
はニューマニスムを大切に、広
範な活動組織であり全共闘とは間
接的に結びつくものなどの説明が
なされた。さらに、「三里家の

夏」の映画が予定されていたが、
全共闘の要請で全共闘討論集会に
変更された。そして十三日午後一
時から旭町寮で政治集会、十四日
午後五時から中大代々木寮で代表
者会議を開くことが伝えられた後

「最低、石を投げるくらいは思慮
内容をもち、十六日の統一行動を
闘ってゆけ」との挨拶があり最
後に「佐藤訪米阻止」「70年安保
粉砕」など十項目のスローガンが
採択され、インター青嶋で午後八
時五〇分に閉会となった。